



週間情報



No.0734

発行日 令和7年9月9日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

消防本部の動き

行事

◆ 新型消火ノズル（共同開発）寄贈式を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和7年8月25日（月）、新型消火ノズル「区画制圧ノズルCAN」の寄贈式を実施しました。

当日は、YONE株式会社の米田哲三社長から中村正人うるま市長へ同ノズル2本を寄贈していただきました。

当該ノズルは、令和3年3月に所属職員が火災現場での経験をもとに考案し、試行錯誤を重ねて試作品を製作したところ、火災の鎮圧に対して十分な効果が期待できると判断し、全国の消防職団員が安全かつ円滑に消火活動に従事できるよう、YONE株式会社と共同開発して、令和7年6月製品化したものです。



【寄贈式の様子】

訓練

◆ 米海兵隊太平洋基地消防本部との合同訓練

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和7年8月18日（月）、中央消防署神原分署の屋内訓練場において、消防相互援助協約を締結している米海兵隊太平洋基地消防本部と合同訓練を実施しました。

この訓練は、特殊災害対応時における同消防本部との連携強化を図るとともに、協力体制を確立することを目的として実施したものです。

当日は、神原分署の特殊災害対応隊を中心に資機材・訓練の展示や、災害対応時における活動の工夫を共有することができました。

今後も、同消防本部とさまざまな災害対応に関する知見を共有し、安全確実な活動につなげてまいります。



【合同訓練の様子】



【記念撮影】

◆ 化学物質災害事故に対する救助合同訓練を実施

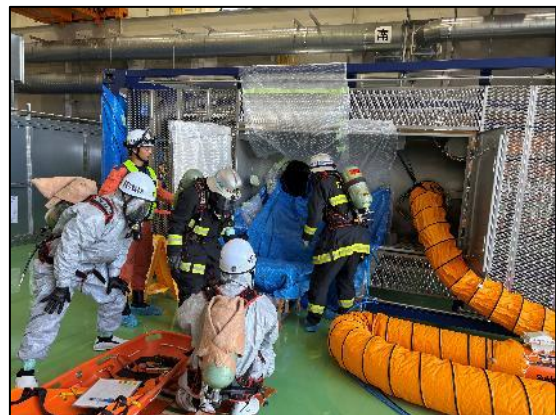
田原市消防本部（愛知）

田原市消防本部では、令和7年8月21日（木）、株式会社バルカーミカワフロンテック田原工場において、当事業所と化学物質災害事故に対する救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、事業所における化学物質に起因する事故に対して、消防機関と事業所が取るべき対応および対処方法について相互に確認するとともに、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、互いの専門知識・技術と保有する各種資機材を共有した後、実際の災害を想定した実働訓練を実施し、両機関の役割を踏まえた連携体制を確立することができました。

今後も、臨海工業地帯への積極的な企業誘致を図っている本市として、民間事業所との連携強化を図るとともに、地域住民の安全・安心なまちづくりに努めてまいります。



【合同訓練の様子】

◆ 「消防団風水害時における消防活動訓練」を実施

入間東部地区事務組合消防本部（埼玉）

入間東部地区事務組合消防本部では、令和7年8月23日（土）、ふじみ野市内の小学校において、「消防団風水害時における消防活動訓練」を実施しました。

この訓練は、当消防本部管内における局地的大雨や台風などの風水害に備えるため、消防団員の資機材の取り扱い技能の習得と安全・確実・迅速な活動能力の向上を図るとともに、消防本部と消防団との連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、猛暑の中、若い団員が多く参加し、当消防本部職員の指導の下、水害活動用資機材の取り扱い訓練を実施し、実災害に対応するための訓練となりました。

今後も、当消防本部管内における災害による被害を軽減するため、消防団との連携強化に努めてまいります。



【歩行訓練の様子】



【救出訓練の様子】

◆ 火災現場における隊員の熱中症対策訓練を実施

志太広域事務組合志太消防本部（静岡）

志太広域事務組合志太消防本部では、令和7年8月12日（火）、25日（月）の2日間、熱中症対策訓練を実施しました。

この訓練は、火災現場における隊員の熱中症予防対策を強化することを目的として実施したものです。

両日は、火災現場の熱中症リスクを想定した訓練を実施し、応援隊によるミストファンや水槽を設置して、身体を冷却しながら活動できる環境を整え、資機材の有効性や応援手順を確認しました。

今後も、隊員の体調管理と併せて訓練を継続し、過酷な現場活動における安全管理体制の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 水上オートバイ合同訓練を実施

水戸市消防局（茨城）

水戸市消防局では、令和7年8月25日（月）、26日（火）の2日間、水戸市が管轄する那珂川流域において、隣接する大洗町消防本部と水上オートバイ合同訓練を実施しました。

この訓練は、当消防局が今年度導入した水上オートバイを円滑に運用することを目的として実施したものです。

両日とも、水上オートバイをすでに運用している大洗町消防本部に講師を依頼し、操縦技術や要救助者の救出方法などについて、ご講義いただきました。

この訓練を通じて、水上オートバイに関する技術を習得するとともに、大洗町消防本部との連携活動を確認することができ、大変有意義な訓練となりました。

今後は、今回の訓練を検証し、さらなるレベルアップにつなげ、あらゆる水難事故に対応できるよう万全を期してまいります。



【合同訓練の様子】

◆ マンホール等立て坑事故対応救助訓練を実施

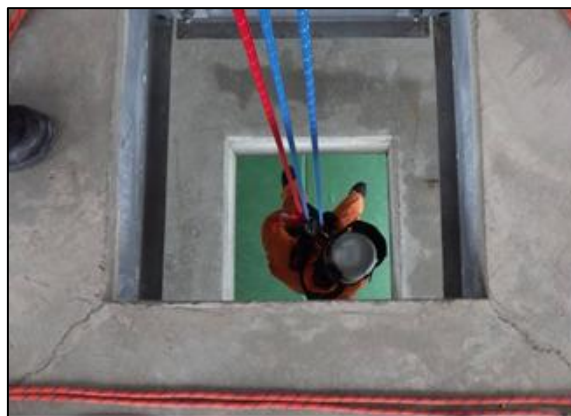
大館市消防本部（秋田）

大館市消防本部では、令和7年8月26日（火）、27（水）の2日間、昨年11月に新築した北分署の訓練施設において、マンホール等立て坑事故対応救助訓練を実施しました。

この訓練は、マンホール内での事故に対応するために必要な知識と技術の向上を図るとともに、隊員間における活動方針の確認と統一を図ることを目的として実施したものです。

両日は、「酸素欠乏状態のマンホール内に要救助者がいる。」との想定で、ガス検知器による環境測定、送排風機を活用した環境改善を行った後、救助用支柱器具とロープシステムにより、空気呼吸器を着装した隊員がマンホール内部に進入し、要救助者に酸素投与を行いながら地上面に救出しました。

今後も各種訓練を継続し、知識と技術の向上を図り、安全迅速な救助活動を行ってまいります。



【訓練の様子】

研 修

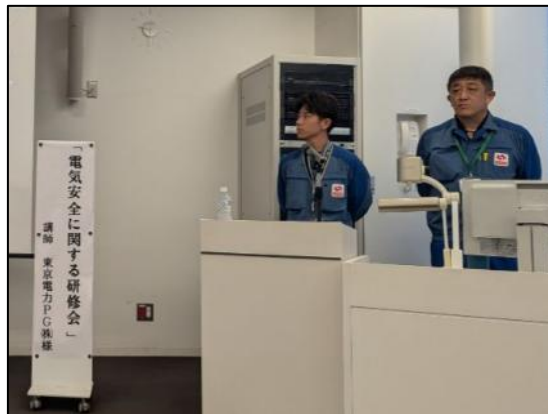
◆ 「電気安全に関する研修会」を実施

土浦市消防本部（茨城）

土浦市消防本部では、令和7年8月19日（火）、20日（水）の2日間、東京電力パワーグリッド株式会社土浦支社にご協力いただき、「電気安全に関する研修会」を実施しました。

この研修会は、電気設備における絶縁劣化やトラッキング現象といった電気火災の発生要因、分電盤・漏電遮断器・感震ブレーカーの構造を深く理解し、今後の火災予防活動に活かすことを目的として実施したものです

今後も、今回の研修を通じて得た知見をもとに、電気設備や地震を起因とする電気火災の防止に、より一層注力してまいります。



【研修会の様子】

◆ 大規模災害時における受援体制に関する研修を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和7年8月27日（水）、大規模災害時における受援体制に関する研修を実施しました。

当日は、奥能登広域圏事務組合消防本部の安用寺浩史氏を講師として、能登半島地震を経験された現場の視点、当時の状況や実際に行われた対応、その中で得られた教訓について、リモート形式でご講演いただきました。

この研修を通じて、今後の活動に直結する大変貴重な学びとなり、どう動くべきか、何を備えておくべきか、そしてどうあるべきかを改めて考える大変有意義な機会となりました。



【研修の様子】

そ の 他

◆ 消防協力者に消防長から感謝状を贈呈

木更津市消防本部（千葉）

木更津市消防本部では、令和7年8月25日（月）、消防協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年7月26日（土）に発生した水難救助事案において、川で溺れている高齢女性に対して、消防協力者が危険を顧みず川へ入り、胸まで水に浸かった状態で、女性が溺れないように体を支え続け、消防隊に引き継いだものです。

消防協力者の献身的かつ勇気ある行動により、無事女性を救助することができました。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「消防ナイトツアー」を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和7年8月23日（土）、管内の小学校4年生から6年生までの学生とその保護者を対象に、「消防ナイトツアー」を実施しました。

このイベントは、将来の消防官を目指す機会を与えると同時に、地域住民の皆さまに消防行政への理解を深めていただくことを目的として実施したものです。

当日は、42人の親子が参加し、消防車乗車走行体験、放水体験、起震車による地震体験を実施したほか、職員が調理した「消防メシ」を夕食として提供し、最後には、夜間での消防隊訓練を披露して、参加者が楽しく真剣に体験する姿を見ることができました。

今後も、消防業務に関する広報の一環として、さまざまな取り組みを行い、消防の魅力を広報してまいります。



【消防ナイトツアーの様子】

消防庁通知等

◆ 緊急消防援助隊に係る消防本部の受援計画の一部見直しについて（通知）

（消防広第332号、令和7年8月29日）

消防庁広域応援室長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素は、緊急消防援助隊の運用及び体制の整備等に御尽力を賜り感謝申し上げます。

令和7年2月26日に大船渡市で発生した林野火災は、延焼範囲が約3,370haとなり、我が国の林野火災としては約60年ぶりとなる大規模な林野火災となりました。消防庁では、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今般、報告書を取りまとめるとともに、「大船渡市林野火災の教訓を踏まえた今後の消防防災対策の推進について」（令和7年8月29日付消防総第770号・消防戦第84号・消防消第381号・消防予第382号・消防特第158号・消防災第131号・消防地第644号・消防広第303号・消防研第205号）を発出したところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250829_kouiki_1.pdf）に掲載されています。

消防庁 国民保護・防災部 防災課
広域応援室 広域応援企画係
岡田理事官・田中係長・小出・宮島・三原
電 話 03-5253-7569
F A X 03-5253-7537
E-mail : kouiki-kikaku@ml.soumu.go.jp

◆ 「「ごみ屋敷」対策に関する取組事例」について（情報提供）

（事務連絡、令和7年8月29日）

総務省消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

「「ごみ屋敷」対策に関する調査」（令和6年8月、総務省行政評価局。別紙参照）において、総務省から、関係省庁（環境省、厚生労働省、総務省（消防庁）及び国土交通省）に対し、市区町村での部局横断的な対応を推進する観点から、関係省庁が連携し、「ごみ屋敷」対策に活用可能な支援方策や取組事例等の情報提供を行うよう通知があったところです。

これを受け、関係省庁において別添のとおり、取組事例を整理しましたので、業務の参考としてご活用いただくとともに、関係者への周知をよろしくお願いいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250829_yobou_jimu1.pdf）に掲載されています。

消防庁予防課予防係
担当：谷川、中臺
T E L : 03-5253-7523
Email : yobouka-y@ml.soumu.go.jp

◆ 「林野火災の予防及び消火活動について（通知）」の改正について

（消防災第 130 号、消防広第 299 号、消防予第 376 号、消防特第 157 号、
令和 7 年 8 月 29 日）

消防庁防災課長、消防庁広域応援室長、消防庁予防課長、消防庁特殊災害室長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和 7 年 2 月 26 日に大船渡市で発生した林野火災は、延焼範囲が約 3,370ha となり、我が国の林野火災としては約 60 年ぶりとなる大規模な林野火災となりました。

そこで、消防庁では、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、今般、報告書を取りまとめるとともに、「大船渡市林野火災の教訓を踏まえた今後の消防防災対策の推進について」（令和 7 年 8 月 29 日付け消防庁次長通知）を発出したところです。

これらを踏まえ、「林野火災の予防及び消火活動について」（平成 15 年 10 月 29 日消防災第 206 号）を別添のとおり改正します。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/rinnyakasaiyoboutounituite.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】

- 通知のとりまとめに関すること
消防庁国民保護・防災部防災課
星野災害対策官・小坂係長・森本事務官
TEL : 03-5253-7525
E-mail : bousaikikaku@soumu.go.jp
- 林野火災の予防対策のうち広報・啓発、消火活動のあり方、計画、報告に関すること
(ヘリコプターによる警戒活動や空中消火に関すること、消火薬剤の活用に関するものを除く)
消防庁予防課特殊災害室
広富課長補佐・緑川事務官・星野事務官
TEL : 03-5253-7528
E-mail : tokusaishitsu@soumu.go.jp
- 林野火災の予防対策のうち、林野火災注意報や林野火災警報、たき火の届出制度や火入れの許可制度、顕著な少雨が確認された際の取組に関すること
消防庁予防課特殊災害室
石野課長補佐・鈴木事務官
TEL : 03-5253-7528
E-mail : tokusaishitsu@soumu.go.jp
- 消防庁予防課
高木課長補佐・松下事務官
TEL : 03-5253-7523
E-mail : yobo@soumu.go.jp
- 林野火災の予防対策のうち、火気設備等の適切な取扱いに関すること
消防庁予防課
川合国際規格対策官・谷川係長・櫻川事務官
TEL : 03-5253-7523
E-mail : yobouka-y@ml.soumu.go.jp
- ヘリコプターによる警戒活動や空中消火に関すること
消防庁国民保護・防災部防災課広域応援室
武田航空専門官・濱口係長・村上事務官
TEL : 03-5253-7569
E-mail : fdma-koukuu@ml.soumu.go.jp
- 消火薬剤の活用に関すること
消防庁予防課
明田専門官・羽田野補佐・川島係長・関係長
TEL : 03-5253-7523
E-mail : yobo@soumu.go.jp

◆ 大船渡市林野火災の教訓を踏まえた今後の消防防災対策の推進について

(消防総第770号、消防技第84号、消防消381号、消防予第382号、消防特第158号、消防災第131号、消防地第644号、消防広第303号、消防研205号、令和7年8月29日)

消防庁次長から各都道府県知事あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防防災行政の推進に御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

消防庁では、令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災（以下「本林野火災」という。）を受けて、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、報告書を取りまとめました。

また、本年7月1日に実施された中央防災会議において防災基本計画の修正が決定され、本林野火災を踏まえ同計画の林野火災編が見直されました。

これらを踏まえ、消防庁においては消防庁防災業務計画の見直しを行い、各地方公共団体においても、地域防災計画の修正の参考としていただきたい旨通知したところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250829_soumu_02.pdf) に掲載されています。

◆ 火災予防条例（例）の一部改正について（通知）

(消防予第383号、消防特159号、令和7年8月29日)

消防庁次長から各都道府県知事、各指定都市市長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

本年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受けて、消防庁では大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会を開催し、報告書を取りまとめたところです。本報告書において、林野火災注意報や林野火災警報の的確な発令等によって林野火災予防の実効性を高めることが必要であるとされたことを踏まえ、火災予防条例（例）（昭和36年11月22日付け自消甲予発第73号）の一部を別添のとおり改正することとしました。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/250829_yobou_01.pdf) に掲載されています。

(問い合わせ先)

予防課

担 当：高木、松下

電 話：03-5253-7523

特殊災害室

担 当：石野、鈴木

電 話：03-5253-7524

報道発表

◆ 令和7年7月の熱中症による救急搬送状況

(令和7年8月26日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和7年7月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20250826.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係
担 当：竹田課長補佐、松田係長、三宅事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 「災害情報伝達手段としてのドローンの活用に関する検討会」の開催

(令和7年8月26日、消防庁)

防災行政無線等の課題についてドローンによる解決を図ることを目的として、「災害情報伝達手段としてのドローンの活用に関する検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250826_boujou.pdf) に掲載されています。

総務省消防庁 国民保護・防災部 防災課
防災情報室

担当：池町、勝山、林、津辻、中村

電話：03-5253-7526（直通）

Email：bgm-boujo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書」の公表

(令和7年8月26日、消防庁)

消防庁では、令和7年2月26日に大船渡市において発生した林野火災を受けて「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を林野庁と共同で開催したところですが、今般、報告書を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/houdoushiryou.pdf>) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁総務課

森、西田、浮田

電話：03-5253-7506

E-mail：fdma-kikaku_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和7年度全国少年消防クラブ交流大会を開催します

(令和7年8月29日、消防庁)

消防庁では、平成24年度から、将来の地域防災の担い手育成を図るため、全国の少年消防クラブが集い、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めることを目的として、「全国少年消防クラブ交流大会」を開催しています。

今年度は、広島県広島市において、23都道府県から50クラブ350名が参加し、合同訓練を実施します。訓練では、放水に使用する筒先をバトンにして障害物をクリアしていく「クラブ対抗リレー」と、障害物を越えながらホースを延ばしてゴールを目指す「クラブ対抗障害物競走」の合計点で競います。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20250829_R7syonensyobokurabutaikai.pdf) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

土田課長補佐、林事務官、田沢事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

◆ 消防団の組織概要等に関する調査（令和7年度）の結果

（令和7年8月29日、総務省消防庁）

総務省消防庁では、全国の市区町村を対象に、令和7年4月1日現在の消防団の組織概要等に関する調査を行い、とりまとめましたので公表します。

上記調査の結果、消防団員数は約73万2千人（対前年比約▲1万4千人）と、依然として減少しております。

一方で、重点的に取り組んできた女性団員、学生団員及び機能別団員については継続して増加しており、消防団員の処遇改善に係る対応状況については、年額報酬、出動報酬及び各報酬の支給方法について基準を満たす市区町村が92%を超え、着実に改善が進んでおります。

総務省消防庁では、こうした状況を踏まえ、引き続き、消防団員の確保に向け、広報の充実や処遇改善を更に推進するとともに、女性団員が活動しやすい環境づくり等を通じた各地域の優良事例の横展開など、消防団の更なる充実に向けた取組を進めてまいります。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20250829_R7soshikigaiyou.pdf）に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

有村課長補佐、山下係長、青山事務官、菊川事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：syobodan/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

◆ 防災拠点となる公共施設等の耐震化推進状況調査結果

（令和7年8月29日、消防庁）

消防庁では、防災拠点となる公共施設等の耐震化状況について調査を実施し、この度、令和6年4月1日時点の状況を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250829_bousai_taisinka.pdf）に掲載されています。

（連絡先）消防庁国民保護・防災部防災課

震災対策専門官 木村 聖洋

震災対策係長 木村 将

事務官 三原 尚

TEL 03-5253-7525

◆ 危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）に対する意見公募

（令和 7 年 9 月 1 日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令（案）について、令和 7 年 9 月 2 日（火）から令和 7 年 10 月 1 日（水）までの間、意見を公募します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（ <https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/f0d4716149ee428e5014ff02373b8c21861518a1.pdf> ）に掲載されています。

（事務連絡先）

消防庁予防課危険物保安室 石野補佐、鈴木

TEL 03-5253-7524（直通）

E-mail:fdma.hoanshitsu_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には「@」に変更してください。

情報提供

◆ 一般財団法人日本消防設備安全センターからのご案内

一般財団法人日本消防設備安全センター

日本消防設備安全センターは、昭和50年の設立以来、消防防災に係る各種事業に取り組む団体であり、昭和56年より「月刊フェスク」を発行し、全国の消防職員、消防設備事業者をはじめとする消防防災関係者や消防防災に興味を持つ方々に情報発信を行っています。

1 「月刊フェスク」について

「月刊フェスク」は当センターHP掲載の電子書籍で、消防防災に係る有益な情報を厳選して発信する「情報誌」として、また当センターの業務動向を紹介する「機関誌」として発行しており、情報発信を通じ、防火防災に係る意識を広く普及啓発することにより、安全な社会づくりの一助となることを目的としています。

閲覧は、「月刊フェスク」で検索をお願いします。消防防災に関するトレンド情報や消防設備・予防行政を中心とした最新情報を掲載しています。毎月25日発刊で、閲覧も、印刷も無料で行えます。



【月間フェスクの表紙】

当センターHP掲載の電子書籍です。
閲覧は「月刊フェスク」で検索

月刊フェスク

スマホは二次元コードから閲覧



【月間フェスクの二次元コード】

2 「安全センターメールマガジン」について

毎月25日頃配信しています。「月刊フェスク」発行のお知らせや、講習・刊行物発刊のご案内、認評価合格品・評価委員会結果公表など、当センター業務に関する最新情報を発信します。

メールマガジンへのご登録は上記の二次元コードや当センターHPのバナーからお願い致します。



【メールマガジンの二次元コード】

【問合せ先】

一般財団法人日本消防設備安全センター 企画研究部 国分・櫻井・相川

E-mail: henshu@fesc.or.jp TEL 03(5422)1492

◆ 令和7年度「屋外タンク実務担当者講習会」開催案内

危険物保安技術協会

昭和52年（1977年）の消防法改正により、特定屋外タンク貯蔵所の基準が大幅に整備され、開放点検などが義務付けられ既に50年近くが経過しました。この間、地震災害や設備の経年劣化などが要因となり、火災、爆発、流出などの事故が何度となく発生しましたが、その都度、これらの事故を教訓とし屋外貯蔵タンクの技術基準が見直され、安全対策などの整備が進められてきました。

また、近年、高度経済成長期に建設された屋外タンク貯蔵所などは、老朽化が進み維持管理のあり方が課題となっており、さらにソフト面では、保安の確保や技術の伝承が重要な課題となっております。

本講習会では、これらの課題を踏まえ、技術基準の重要性と安全を重視した維持管理のあり方に焦点を当て、事例などに基づいた実務的な要素を取り入れ、適切な審査などに関する知識・技術の習得を目的とし、下記のとおり開催いたします。

本年度は、東京で会場講習を開催いたしますとともに、会場での受講が困難な方のためにオンライン講習（ライブ配信）を行います。

記

- 1 主催
危険物保安技術協会
- 2 協賛
全国消防長会、石油連盟、石油化学工業協会、日本非破壊検査工業会
- 3 開催日、受講期間および場所など
 - (1) 会場講習
令和7年11月28日（金）10時00分から17時00分まで
受付開始9時45分（受付開始前には会場にはお入りいただけません。）
危険物保安技術協会 第一会議室
定員44人（席数に限りがあることから、同一事業所・機関からのお申し込みは2人までとさせていただきます。3人以上お申し込みいただいた場合は、オンライン講習に振り替させていただきます）
 - (2) オンライン講習（ライブ配信）
令和7年11月28日（金）10時00分から17時00分まで
定員500人
- 4 受講対象者
主に、屋外タンク貯蔵所を保有する事業所、タンクメーカー、非破壊検査会社および消防機関などの屋外タンク貯蔵所に係る業務に携わる方を対象としていますが、特に限定はいたしません。
- 5 受講料
15,400円（消費税10% 1,400円含む）
※会場講習とオンライン講習は同額です。
- 6 開催プログラム

内 容	講 師
(1) 屋外貯蔵タンクに係る基準の概要	危険物保安技術協会 タンク審査部
(2) 屋外貯蔵タンクの変更許可申請書類作成のポイント解説	
(3) 特定屋外貯蔵タンクの溶接部検査 ～現地審査の留意事項と最新の動向～	
(4) 屋外貯蔵タンクの基礎・地盤の維持管理 ～維持管理に係る留意事項について～	危険物保安技術協会 土木審査部
(5) 事故調査から見える防止対策	危険物保安技術協会 事故防止調査研修センター
(6) 質疑応答	全講師

7 申し込み手続き

当協会のホームページ（<http://www.khk-syoubou.or.jp/>）の「セミナー・講習会」から受講を希望されるものを選択し、お申し込み下さい。

申込期限は9月1日（月）から11月14日（金）までです。

8 個人情報の取り扱い

危険物保安技術協会は、取得した個人情報をお問合せの回答および講習会などの開催案内、その他これらの業務に附帯する業務のみに利用します。

連絡先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル1階

危険物保安技術協会 研修事務局

E-mail：kensyu@khk-syoubou.or.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。